



令和 5年10月19日
御前崎市立さくらこども園

体を動かして遊ぶには絶好の季節となりました。爽やかな風が気持ちよく、自然に体を動かしたくなります。

先週14日(土)には、幼児部の運動会がありました。

自分の力を精一杯出そうと歯をくいしばったり、友達と一緒に楽しい、だから気持ちや力を合わせたりなど、さまざまな子どもたちの姿から、学年それぞれの育ちを見ていただけたことと思います。また、お子さんの1年の成長を感じられた方も多かったのではないかと思います。

お出かけいただいたご家族の皆様には、温かい声援を送っていただきました。ありがとうございました。

さて、運動会に向かう日々の中、0・1・2歳の子ども達は、お兄さん、お姉さんたちが、かけっこをしたり、踊りを踊ったりし始めると、じっとその様子を見つめたり、まねして体を動かしてみたり、また「がんばれー！」と可愛い声援を送ってくれたりしました。また、年少・年中の子どもたちは、年上の子どもたちのやる組体操やバールン、竹馬やリレーをまねて楽しむようになりました。子どもたちは、憧れの気持ちや「楽しそうだ」「面白そう」と興味をもつとすぐに見よう見まねでやってみようとしています。

実は、子どもにとって「まね」がとても大切で「子どもは『まねして育つ』』と言われます。「まねする」ことは子どもの成長に欠かせないこと。子どもは、「まね」をすることで世界を理解していくのだそうです。

その第一歩は「笑顔」。赤ちゃんの時に母さんの笑った顔を見て、それを真似て笑顔を作るのは、本能的なステップであってもすごいことなのだそうです。

真似をするときのお手本は、自分よりも2～3歳くらい年上の子が適しているといわれます。兄姉のいる子の成長が、他の子よりスムーズに感じたり、早く感じたりするのは身近に最適な見本となる存在がいるから。

ですから、園でも異年齢の子と一緒に過ごすことが発達の助けになります。(お家に兄姉がいない場合は、身近な大人、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが見本となります)

以前テレビで、『人間にもっとも近いと言われるチンパンジーには「まねする」という能力がなく、それがあるのは人間だけ。「まねする」ということは人間だけができる素晴らしい能力である』というのを見たことがあります。子ども達には、人間だけが持っている素晴らしい能力を存分に使って、たくさん「まね」して育ってほしいと思います。



「おはよう！」のあいさつが気持ちいいです！

朝、自分から「おはよう！」とあいさつをしてくれる子が増えてきました。お家の方に促されて「おはよう」とあいさつしてくれる子もいます。

園での1日が「おはよう！」と元気なあいさつで始まるのは、とても気持ちがよいもの。お家の方たちのお子さんへの働きかけのおかげと感謝です。

今はまだ「おはよう」と声に出せない子もいます。でも大丈夫。声にはならないけれども、アイコンタクトで、また表情で「おはよう」を伝えてくれていますから。(「おはよう！」と声に出して言うのは、なかなか勇気がいります。大人がモデルになりながら、その時を楽しみに待ちましょう。)

○●○●○ 季節の変わり目です。体調に気を付けましょう！ ○●○●○

肌寒さを感じる日が増えてきていますが、少し動くと汗ばんだりもする季節です。朝晩の寒暖差や、天気によって左右される気温に、体が追い付かず、発熱、咳、鼻水等の症状が現れ、体調を崩す子が増えてくる時期です。市内の小中学校ではインフルエンザの流行による学級閉鎖もあるとのこと。お子さんの体調には十分ご注意ください。

おねがい

- 幼児部(年少・年中・年長)のお子さんは、8時50分までに登園してください。遅刻をすると園の活動リズムに乗りにくくなります。時間内に登園してください。